令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	烏帽子山千本桜保存会		
事業名	日本の桜名所100選の地「烏帽子山公園」～横に広げて、縦につないで～		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【自由提案部門】		
団体の所在市町村	南陽市	事業費	５００，０００円
		うち助成金額	４００，０００円
事業実施期間	令和７年６月１３日～令和８年２月２８日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

「桜木」、「桜の街づくり」、「大先輩の大志」を、今の私たちが次代につなげる
(1)赤湯小学校との施肥協働作業を大切にし、地域を知り郷土愛を醸成する。
(2)公園内の植物にラベルを付ける等、周年で楽しめる公園にする。
(3)桜の「愛称木」と「二代目園」の朽ちた名称看板を更新し、美観を維持する。
(4)情報発信を一層盛んにし、交流人口の増加と市民が誇りを持てる街づくりを進める。

（実施内容）

(1)赤湯小学校との施肥協働作業を行い、シビックプライドを育んだ。
①事前学習10月21日(火)児童95人、職員5人、講師として保存会２人(写真下、右上)
②施肥体験10月28日(火)児童・職員99人、市民24人(青年会議所、青年団、保存会等)参加
③振り返り学習「感想文執筆」（児童全員）、会報に掲載。
＊「記念缶バッチ(写真下、右下)」を、生徒・職員、参加市民全員に贈呈した
(2)周年で楽しめる公園にした。
①公園内の75種類の植物に名称標識を設置した。
②10月5日(日)に「秋の植物観察会」を実施し約30名が参加した。
(3)桜の「愛称木」と「二代目園」の朽ちた名称看板を２基更新し、美観を保持した。
(4)烏帽子山千本桜の情報発信を、いっそう盛んにした
①散策マップを最新情報に更新して、来春の桜まつりに提供する
②小中生製作の「烏帽子山大好き画像」を赤湯駅の大画面に10～２月まで放映した
③インスタグラム公式アカウントを開設し、烏帽子山の四季の魅力を発信している







事業の成果	(1)赤小３年生との施肥作業「さくらにごはん」等で、「ぼく・私と桜の関係」ができた。 ①感想文では、「自然にある」から「大先輩が植えてくれた」への変化が見られた。また、「家族と一緒に花見に来た時に教えてあげる」という広がりも見えた。 ②冬の「あかゆじまん『さくら班』」では、いっそう深い探究的質問がなされた。 (2)桜から始まり一年中楽しめる烏帽子山公園に近づけた。(公園の歴史上初事業) ①公園内75種類の植物に名称標識を設置した。 ②10月5日(日)に「秋の植物観察会」を実施し約30名が参加した。(写真下左) (3)桜の「愛称木」と「二代目園」の朽ちた名称看板を２基更新し、美観を維持できた。 ①従来からのデザインの看板が違和感なく景観に馴染んでいる。 (4)烏帽子山千本桜の情報発信を一層盛んにすることができた。 ①「散策マップ」を改訂して正確な情報を発信するとともに、本事業で開設したインスタグラム公式アカウントにも掲載した。４言語版のマップは大好評である。 ②赤湯駅ラウンジのデジタルサイネージに赤小中生の目から見た「赤湯の魅力」を発信することができた。 ③インスタグラムでは、桜の開花状況をリアルタイムで発信している。 (5)４年前から赤湯中学校１年生への「桜は人で咲く」の講話を開始している。 「小学３年生：施肥体験(桜との関係づくり)⇒中学１年生：明治の大先輩の大志を知る」という、発達段階に応じた継続的な体験を通して、愛郷心やシビックプライドを醸成するシステムができた。中学１年生全員の感想文からは、「大先輩の桜木を守り、街を賑やかにしていく！」という決意が感じられる。(写真下右)
今後の展望	(1)同時代の人たちや団体との連携を強め、シビックプライドを醸成する〈横に広げる〉 (2)小中学生への郷土愛を醸成する(講演、「施肥ボランティア」など)〈縦につなげる〉 (3)著名な樹木医等の公開講演会を開催し、烏帽子山の魅力を発信する。〈横に広げる〉 (4)小中学生保護者(若い)も含めて会員を拡大する〈横に広げる〉〈縦につなげる〉





団体概要

団体名　烏帽子山千本桜保存会　代表者　竹田耕平、平成２年度設立、会員約１３０名

「赤湯温泉を賑やかにしよう」と、明治１１年から大先輩が始めた桜木育成と桜による街づくりの大志を次代に引き継いでいきたい。小学生の施肥活動に加えて、４年前から中学校でも、講話「桜は人で咲く」を行ない、横に広げながら縦につないでいる。公式インスタグラムもご覧ください。

URL　http://enterpriz.jp/eboshiyama

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	日本の桜名所100選の地「烏帽子山公園」～横に広げて、縦につないで～
団体名	烏帽子山千本桜保存会

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	400,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	100,000	
合計	500,000	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金		
旅費		
印刷製本費	162,815	散策マップ改訂増刷
消耗品･材料購入費	270,685	文具、肥料代等
通信運搬費	8,500	ハガキ＠85×100枚
保険料		
使用料		
人件費		
(委託費)	58,000	SNS支援料33,000円、駅ラウンジ放映料25,000円
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	500,000	